

再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム)
研究開発課題評価(令和6年度実施)
事後評価結果報告書

研究開発課題名	ヒト体内時計全身制御の解明と新規眠剤創薬のための時計中枢オルガノイドの研究開発
代表機関名	京都府立医科大学
研究開発代表者名	田宮 寛之

【評価コメント】

当初の研究計画をおおむね達成した。革新的睡眠調整剤の創生に向けて、マウス SCN オルガノイド培養技術と、その評価系を確立し、薬効評価を可能にしたことは評価できる。また、研究成果の知財化や企業との交渉に取り組んでいる点も評価できる。一方、ヒト iPS/ES からの SCN オルガノイドの樹立はプロトタイプに留まっており、今後、解析に重要なクロノタイプ別 iPS 細胞の樹立や、SCN オルガノイドの機能検証などの研究の進展が期待される。創薬スクリーニングへの応用に向けて、論文化を進めるとともに、具体的な創薬イメージ、研究開発戦略に基づいて、病態生理を再現した評価系の構築に取り組むことが期待される。